



はねびょん©大田区

発行 / 大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 未来を創る子どもたちの豊かな成長をめざして
- 2面 全国学力・学習調査の結果、家庭教育コラム
- 3面 中学生職場体験、ものづくり教育・学習フォーラム
- 4面 地球にやさしいまちづくりポスター表彰

未来を創る子どもたちの豊かな成長をめざして



昨年、大田区教育委員会では、令和元年度から5年度までの教育振興基本計画として「おおた教育ビジョン」を策定しました。ビジョンのもと、子どもたち一人ひとりが輝かしい未来を創り上げていくために、今後5年間で特に伸ばしたい力をはぐくむ教育活動の一部をご紹介します。

【問合せ】 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



～ おおた教育ビジョンに基づく 区立小学校・中学校での取組 ～

中学3年生 実用英語技能検定



今年度から区立中学校第3学年の全生徒を対象に、公費負担による日本英語検定協会の「実用英語技能検定(英検)」を実施しています。おおた教育ビジョンのビジョン1「社会の変化に主体的に対応し、未来を創る力」の一端として、グローバル化に対応できる英語力を身に付け、積極的にコミュニケーションを取ろうとする意欲や自ら目標を設定することで、英語学習の意欲の向上を図る態度をはぐくむ取組です。今後5年間で、英語検定3級以上を取得している中学校第3学年の生徒の割合を60%以上とすることをおおた教育ビジョンの成果指標の1つとしています。

今後5年間で、英語検定3級以上を取得している中学校第3学年の生徒の割合を60%以上とすることをおおた教育ビジョンの成果指標の1つとしています。

食育の推進



各学校で食育推進の中核となる食育リーダーを教員の中から指名して、食育推進チームを組織し、教科等の内容と関連付けた指導を行うことにより、様々な食育を実施しています。

【田園調布小学校】

5年生の社会では、魚食の外部講師を招いた体験授業を実施しています。児童は、外部講師から「魚の種類や漁の方法」などについて話を聞き、冷凍カツオの1本釣りやカツオ節削りを体験したり、だしの飲み比べをしたりしながら、食について楽しく学んでいます。

3年生の学級活動では、シェフや料理人の外部講師を招いた「味覚の授業」を実施しています。児童は、外部講師から「味覚の発達と食を味わうことの大切さ」について話を聞き、5つの基本味の試食など、食について楽しく学ぶ機会を設けています。

さらに、各学年で、栄養教諭による食に関する授業を実施しています。2年生では、生活の栽培活動と関連付けた「秋野菜」についての授業、3・4年生では、「栄養バランス」についての授業の後に、「バイキング給食」を体験するなど、給食と連動した食育を実施しています。



プログラミング教育

令和2年度からの新学習指導要領には、「情報活用能力の育成」「論理的思考力の育成」を図ることの重要性が示されています。これらのプログラミング的思考を育む学習が、令和2年4月からすべての小学校で実践されます。



【北糞谷小学校】

6月28日に東京都教育委員会プログラミング教育推進校の研究実践報告会が行われました。令和2年度から全面实施となるプログラミング教育の準備をどのように行ったらよいか、どのような指導を行ったらよいか等、多くの小学校の疑問にこたえるべく、「楽しく学ぶ」「考え方を学ぶ」「常に最先端を意識する」という3つの柱を重視し、参加した教員が体験しながらプログラミング教育について学ぶことができた報告会を実施しました。

参加した教員が体験しながらプログラミング教育について学ぶことができた報告会を実施しました。

子どもの「声」

生活に役立つロボットをみんなで相談して作りました。センサーがうまく動かなくて何度もやり直しをしましたが、どんどん夢中になっていきました。苦労してプログラミングしたロボットが計画どおりに動いたときは、ものすごくうれしかったです。



【矢口西小学校】

10月11日に大田区教育委員会教育研究推進校・東京都教育委員会プログラミング教育推進校の研究発表会が行われました。「考える子の育成」を研究主題とし、プログラミング活動は各教科等の目標を達成させる手だてであるという考え方のもと、豊富な実践例を発表しました。どの学年でどのような情報機器のスキルを身に付ければよいかを計画した「ICTスキル表」や、どの教科の何の単元でプログラミング的思考を身に付けることができるかを表した「プログラミング教育教科別単元表」など、各学校の参考となる資料を多く示しました。

どのような情報機器のスキルを身に付ければよいかを計画した「ICTスキル表」や、どの教科の何の単元でプログラミング的思考を身に付けることができるかを表した「プログラミング教育教科別単元表」など、各学校の参考となる資料を多く示しました。

子どもの「声」

・ビジュアルプログラミング言語「Scratch」を使い、コンピュータ上で図形を描く学習をしたことで、図形の性質が分かりました。
・プレゼンテーションソフト「PowerPoint」を使い、友だちに自分の考えを伝える活動を行ったことで、短い言葉で簡潔に伝えることができました。

ESD・SDGs 持続可能な社会の実現に向けて

ESDとは「持続可能な開発のための教育」と訳され、環境や貧困、開発といった様々な問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組む持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ教育とされます。

SDGs(エスディーゼーズ)とは2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、持続可能な世界を実現するための17個の国際目標です。

【大森第一小学校】

「あしたへつなぐ、わたしたちができること……持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちの“自分ごと化”をすすめ深い学びを育む大森第一のSDGs～」という研究主題を掲げ、2年間の研究の成果を11月1日に発表しました。研究の大きな特長は、従前から築き上げてきた児童の高い自己肯定感を基盤とし、地域に根差した教育活動をESDの視点から実践している点です。一例として、海洋プラスチック問題を取り上げ、近隣の大森ふるさとの浜辺公園の環境保全活動やノー・ストロー・デイの実施に繋がった「大森第一未来環境ラボ」が挙げられます。

研究の成果は2月12日のおおたの教育研究発表会などで区内全ての学校へ紹介し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。



子どもの「声」

海ごみについて取り組んでいる人が、アンケートをした25人中18人でした。みんなにもっと知らせて、いずれは海ごみがなくなるといういいなと思いました。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から

平成31年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。対象教科は、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学、英語でした。本調査は、児童・生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るとともに、児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを主な目的として実施しています。

結果は表のとおりです。小学校では、国語、算数ともに全国の平均正答率を上回る数値を示しています。中学校では、国語、数学ともに全国の平均正答率とほぼ同じ数値を、英語は全国の平均正答率を上回る数値を示しています。

令和元年6月に策定された大田区の教育振興基本計画である「おおた教育ビジョン」では、成果指標として、本調査の質問紙調査を設定しています。「自分にはよいところがあると思いますか」という設問に、肯定的(「当てはまる」もしくは「どちらかといえば当てはまる」)に回答した小学校第6学年の児童の割合を、今年度から5年間で84.0%に引き上げることをめざしています。今年度は81.7%という結果でした。今後も、学校で児童・生徒のよいところを認め励ますことで、自己肯定感や学びに向かう姿勢を養い、学力の向上を推進していきます。

【問合せ先】 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に、当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合

	令和元年度	～	令和5年度 (目標値)
小学校	81.7		84.0
中学校	75.3		



「自分にはよいところがあると思いますか」という設問と平均正答率との関係

(小学校第6学年)

	国語	算数
1. 当てはまる	68.2	71.8
2. どちらかといえば当てはまる	65.6	69.9
3. どちらかといえば当てはまらない	58.2	63.0
4. 当てはまらない	51.8	58.4

(中学校第3学年)

	国語	数学	英語
1. 当てはまる	73.7	62.2	61.2
2. どちらかといえば当てはまる	74.3	61.7	59.2
3. どちらかといえば当てはまらない	70.7	58.1	55.4
4. 当てはまらない	64.5	51.2	51.0

平均正答率

(小学校第6学年)

	大田区	東京都	全国
国語	65	65	63.8
算数	69	70	66.6

(中学校第3学年)

	大田区	東京都	全国
国語	73	74	72.8
数学	60	62	59.8
英語	59	59	56.0

家庭教育 コラム

家族みんなで考えよう！ ～スマホのルールや使い方～



独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 主任心理療法士 三原 聡子

◆子どもたちを取り巻く現状

ゲーム機やスマホを持っていることが子どもたちの間で「普通」となり、むしろ友達を作るうえで必需品となっているような状況も見られます。また、スタディアプリや、辞書の機能を果たすなど、勉強をする上でもスマホが必需品の時代になっています。親世代の子ども時代からは考えられないほどネット環境が変化し、子育ての上で戸惑うことも多いと思います。スマホやゲーム機はどのような点に注意して渡したらいいのでしょうか？



◆ネット・ゲーム依存とは？

ネット上の様々なサービスの中でも、特に「オンラインゲーム」には「依存性」があることが分かっています。ゲームをプレイすると麻薬などと同じように脳内に「快感物質」が出て、「楽しい」「もっとやり続けたい」という気持ちになります。そうして「楽しい」と感じられることを求めてずっとゲームをし続けなければならない脳になってしまうことが分かっています。ゲームがやめられなくなった結果、成績低下、遅刻・欠席、取り上げると暴力に及ぶ状態になります。長期に及ぶと、昼夜逆転、怠学、運動不足による骨密度の低下、同じ姿勢で長時間プレイし続けるためにエコノミークラス症候群になるなど、子どもたちの心身に深刻な問題を引き起こします。



◆ネット・ゲーム依存の予防方法

それでは、子どもたちをゲーム障害にさせないためには、どうしたらよいのでしょうか。

先行研究から浮かび上がるゲーム障害の「予防法」として、ネットの使用開始年齢を遅らせる、使用時間を少なくさせる、全く使用しない時間を作る、家族の使用も減らす、現実の生活を豊かにすることがあげられます。



WHO(世界保健機関)は、「5歳未満の乳幼児の身体活動等に関する新ガイドライン」を発表しました。それによると、ネット・ゲームなどの使用時間に関して、2歳から4歳は1日1時間未満とし、「少なければ少ないほど良い」としています。さらに、2歳未満は1日0時間、つまり「使用しないこと」を推奨しています。

また、小さいころから、ネットやゲーム以外の様々な遊びや趣味の楽しさを体験させておくことが大切だと思います。大人もネットを介さない人間関係が、豊かで楽しいことを子どもに見せることが重要ではないでしょうか。



【問合せ先】 教育総務課教育地域力推進担当 TEL 5744-1447 FAX 5744-1535

中学生職場体験を実施

大田区教育委員会では、子どもたちの学習意欲を高め、努力し続ける意思をはぐくむことにより、主体的に学習に取り組む態度を育成するためキャリア教育を推進しています。

今年度も、全ての区立中学校の第2学年の生徒が3日間の職場体験を行っています。中学生職場体験では、自身の生き方や職業・進路の選択などに必要な勤労観や職業観を身に付けることを目的としています。



生徒の感想から

- 私が職場体験を通して特に学んだことは、「笑顔」と「自発的に行動する」ということです。今回体験をさせていただいたペットショップの皆さんは、お客様とのコミュニケーション中、常に笑顔絶やさず明るく振舞っていました。その姿は、私も見ていてとても気持ちがよく素敵でした。そして私も、将来働くときお客様はもちろん、同じ職場の人たちなど周りの人に、よい気持ちになれるような笑顔で振舞える大人になりたいです。また、仕事を毎日一生懸命なされていたペットショップの皆さんの姿を見て、「自分も何か役に立ちたい」と思い、自然と自発的に行動できるようになっていきました。担当の方に「気が利くね。ありがとう。」と言われたときは、本当に嬉しかったです。他にもたくさんのお話を学び、成長できた貴重な3日間でした。今回学んだことを今後につなげ、ペットショップの皆さんのような立派な大人になれるように、頑張っていきたいと思っています。
- 私は、今回の美容室での職場体験で沢山のことを学びました。その中でも大切だと思ったことがあります。まず、何をしても努力を惜しまないでやり遂げるということです。カットやパーマの練習をさせてもらいました。最初は全然できませんでしたが、諦めない気持ちをもって、できるまで練習を続けることで、少しではありますが、できるようになりました。諦めないで努力を惜しまずすることで、その努力は必ず報われると思いました。次に、まわりの人のことを思いやるということです。朝、自分のお店だけではなく周囲も掃除をしました。他にもお客さんが来た時に、次に何をすれば喜んでもらえるかなど、色々なことを考えました。いつもは、他の人よりもまず自分のことを考えてしまうので、もっとまわりの人のことを考えて行動できるようになりたいと思いました。私は、3日間の職場体験で、今後の人生で大事なことを沢山吸収し、成長できたと思います。自分の行動によって誰かが喜び、「ありがとう。」を言ってくれることも嬉しい気持ちになることがわかりました。短い期間ではありましたが、貴重な体験ができてよかったです。これからの学校生活で、学んだことを生かして頑張っていきたいです。

問合先 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

ものづくり教育・学習フォーラム

ワクワク ドキドキ すてきなものづくり!

今回で第18回を迎える「ものづくり教育・学習フォーラム」は、大田区の小・中学校、高等学校、特別支援学校、各企業・団体が協力して開催する「ものづくりのまち～大田～」ならではの一大イベントです。

昨年度は、7,953人の来場者でにぎわいました。今回もスタンプラリーを実施し、素敵な景品を用意しています。多くの方々のご来場をお待ちしています。

開催日時 令和2年1月18日(土) 9:00~16:00
 ※体験コーナー及び作品展示は15:00で終了となります。
 会場 大田区産業プラザPiO(南蒲田1-20-20)



発表会、競技会、ものづくり体験、作品展示などを行います!

※一部の体験では、実費(材料費の一部・500円まで)が必要となります。

問合先 指導課指導主事
 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

参加してみませんか? おおたの教育研究発表会開催

「おおたの教育研究発表会」は、教育研究推進校8校及び家庭学習研究推進校2校による研究成果の発表と、参観した方々との意見交換を通して、区全体の教育力の向上を図ります。

日時	令和2年2月12日(水) 14:00~16:00
場所	池上会館(池上1-32-8) 全体会: 2階集会室 分科会: 各会議室
参観方法	大田区立学校に在籍する児童・生徒の保護者の方は、学校にお申込みください。区内在住の方は、問合先へ「住所・氏名・希望する分科会」を電話又はファクシミリでお申込みください。
申込締切	令和2年1月23日(木)
その他	・分科会は表の①~④の4つのテーマに分かれます。 ・大田区教育委員会では、教育研究推進校を指定し、当面する教育課題を積極的に解決する実践的研究を奨励し、2年次に各学校を会場として研究発表会を開催しています。

令和元年度おおたの教育研究発表会分科会テーマと発表校

分科会	テーマ	発表校(研究教科等)
①	主体的・対話的で深い学びの実現①	道塚小学校(算数)
		山王小学校(体育)
②	主体的・対話的で深い学びの実現②	大森第一小学校(ESD・SDGs)
		田園調布小学校(協働的学習)
③	情報教育及びプログラミング教育の推進	調布大塚小学校(ICTの活用)
		矢口西小学校(プログラミング教育)
④	学びに向かう力・人間性等の涵養	矢口中学校(キャリア教育)
		大森第三中学校(不登校対策)

※北薮谷小学校と大森第七中学校(家庭学習研究推進校)は、全体会で発表を行う予定です。

問合先 指導課指導主事
 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

第19回エコフェスタワンダーランド in 六郷

開催日 令和2年2月16日(日)
時間 午前10時00分から午後3時30分まで
 ※受付は午後3時まで
開催校 区立東六郷小学校(東六郷2-3-1)
 ※車でのご来場はご遠慮ください。
 校内に駐車スペースはありません
 ※自転車の駐輪スペースは校内に設ける予定です。

★エコフェスタワンダーランドとは？

毎年、小学校を会場に、区内で活躍している環境団体や企業に集ってもらい、環境に関する展示や体験を通して、会場に来てくれた方に環境の大切さを学んでもらうイベントです。

みんなの参加を待っているよ！
「環境啓発イベント」

★どんな体験ができるの？

松ぼっくりやドングリでリース・ツリー作り、紙すきで絵葉書作りなどの体験ができます。環境に関するお芝居や壊れたおもちゃを無料で直してくれるコーナーもあります。

各ブースの紹介 (平成30年度抜粋)



問合先 環境計画課 計画推進・温暖化対策担当 TEL 5744-1362 FAX 5744-1532

地球にやさしいまちづくり

ポスター 受賞者発表

環境問題に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、区内の小中学生からポスターを募集しました。243作品の応募をいただき、審査の結果、ポスター作品の受賞者が決定しましたのでお知らせします。

最優秀賞



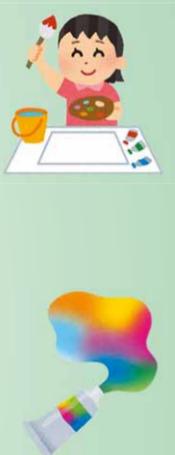
田園調布小学校1年 吉田 想来



小池小学校6年 谷中 美聖



馬込東中学校2年 北田 紬



【優秀賞】

馬込小学校3年 山本 悠太郎 調布大塚小学校1年 川口 紗奈
 大森第三小学校5年 福崎 誠人 調布大塚小学校5年 高見 遙
 馬込東中学校1年 山本 蒼太郎 雪谷中学校3年 恩田 まひろ

【エコライフおおた賞】

入新井第四小学校3年 中澤 玄貴 田園調布小学校4年 細萱 悠希
 馬込東中学校2年 城間 優美子

【入選】

馬込第三小学校3年 松木 進次郎 調布大塚小学校2年 松蔭 咲彩
 調布大塚小学校1年 岡村 愛奏 馬込第二小学校6年 本田 万丈
 田園調布小学校4年 齊藤 麻央 赤松小学校4年 前田 侑子
 大森第一中学校2年 貝瀬 優月 馬込東中学校2年 稲垣 凜
 大森第四中学校1年 島田 麻衣 志茂田中学校1年 丸井 咲恵花

問合先 環境計画課 計画推進・温暖化対策担当
 TEL 5744-1362 FAX 5744-1532

教育委員会新委員の就任について

令和元年12月21日をもって後藤貴美子委員が任期満了により退任し、新たに令和元年12月22日付けで北内英章委員が就任いたしました。



委員 北内 英章

教育委員会定例会の主な議題

- 令和元年第9回定例会 9月19日(木) 開催
 - ・平成30年度おおた教育振興プラン2014の事業実績と評価
 - ・大田区教育委員会非常勤職員の報酬の額に関する規則の一部を改正する規則
- 令和元年第10回定例会 10月16日(水) 開催
 - ・大田区教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則
- 令和元年第11回定例会 11月20日(水) 開催

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 ①令和2年1月22日(水) ②令和2年2月13日(木) ③令和2年3月26日(木)
- 時間 ①・②午後2時から ③午後1時から
- 場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
 ※予定が変更になる場合があります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。
 ※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

問合先 教育総務課庶務係
 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535